

(6月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		8,458	98	8,294	72	111	78	3	-	青森、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。青森産は、4月の降雪の影響はなく、ほぼ前年並の生育。前半はL中心でやや小ぶりだが、後半は肥大が期待される。千葉産は少なめで、6月上旬には切り上がる見込み。全体の入荷量はやや前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
にんじん		6,262	104	6,880	218	60	148	-	-	千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。生育は順調で、出荷ピークは5月下旬から6月上旬。出荷は6月いっぱい終了する見込み。出荷量は量的に少なかった前年より多いが平年より少ない見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。
はくさい		5,280	98	5,693	66	98	63	0	-	長野、群馬産等関東産が市況をリードする。長野産の出荷は前年並みの6月初旬からスタート。ピークは6月下旬。L(6玉)中心で肥大についても前年並。群馬産は5月下旬から出荷が始まりピークは6月下旬。7月は減り気味に推移。全般的には、入荷量、価格とも前年をやや下回る見込み。
ほうれんそう		1,616	100	1,567	405	94	414	3	0.2	東北、関東が主産地となる。岩手産はゆっくりペースで少なめと予想される。6月中旬がピーク。群馬産は4、5月の好天で播種がスムーズに行われたことにより生育は順調。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
キャベツ類		14,767	100	15,050	67	119	71	-	-	千葉、茨城産中心の入荷で全体の約7割を占める。千葉産は生育はやや早まっており、5月下旬から入荷量は増加し、6月としては前年並みの入荷となる見込み。茨城産は生育は前年並。5月下旬から6月がピーク。全体の入荷量は前年並、価格は前年を上回る見込み。

(6月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ねぎ		4,353	102	4,413	367	76	279	2	-	茨城、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。茨城産は生育がやや早めであり、5月下旬から出荷が始まり、6月上旬がピークとなる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を下回る見込み。
レタス類		7,147	100	7,779	158	82	128	-	-	長野、群馬産中心の入荷で全体の約9割を占める。長野産は5月の生育遅れも回復し、6月は平年並に戻ると予想される。サイズは16玉中心で前年並と見込まれる。群馬産は5月下旬から露地に切り替わり、6月10日過ぎにピークを迎える。12玉中心の見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
きゅうり		6,901	102	7,625	229	92	197	115	1.7	埼玉、福島産中心の入荷で全体の約4割を占める。埼玉産の生育は順調で、6月としては前年並か上回ると見込まれる。福島産の生育は平年並のペース。6月は無加温のピークとなる。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。
なす		3,485	102	3,959	356	95	300	-	-	高知、福岡、群馬産中心の入荷で全体の約7割を占める。高知産は5月の夏日の影響で前進化が予想される。6月に入っても減ることはなく品質は良好。群馬産は6月にピークとなり、無加温が中心。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。
トマト		8,249	102	9,191	248	97	231	198	2.4	栃木、千葉、愛知産中心の入荷となる。栃木産の生育は半促成、夏秋とも順調で、6月は前年並かやや多い見込み。千葉産の生育は平年並であり、作柄は良好。6月は半促成の後半になるため、サイズはS中心で、やや小ぶりとなる見込み。愛知産は若干少なめの出荷となっている。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。

(6月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
ピーマン		2,288	105	2,664	366	82	282	-	-	茨城産中心で全体の約9割を占める。茨城産は6月がピークとなり、ハウスも春物も順調な生育。6月とすれば前年並かやや多い見込み。全体の入荷は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。
ばれいしょ		7,374	100	8,312	147	95	119	-	-	長崎、静岡産中心の入荷となる。長崎産は生育が前進化しているため数量は少なめ。静岡産の生育はやや遅れており、出荷初めは6月初めとなる見込み。出荷ピークは7月に入ってから。干ばつ傾向が続いたため大きさは小ぶりだが、品質は近年になく良好。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。
たまねぎ		11,235	95	11,478	84	107	76	-	-	佐賀、香川産中心の入荷で全体の約7割を占める。佐賀産は6月には中生と晩生の出荷になる。前年のように大玉ではないが、作柄は良好。香川産は前年より作付面積が減少しており、6月の出荷は前年の7割程度まで落ち込む見込み。出荷のピークは6月中旬。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。